

# 【ふらわーず】だ・よ・い 『第11号』

令和3年4月26日発行

○新年度が始まり、1ヶ月がたとうとしています。学校・こども園・保育園の流れに子供たちが慣れ、「学校って楽しいな～」と思えるまで、できるだけ学校メインで押し出している状況です。また、中学校に入学した子供たちに関しては、3年後の【受験】で、「あの時、休んでなければ～」「行きたい高校に行けない」と後悔しないように、「デイより学校だよ・・・」と、声を掛けています。その為に、今が大事！！

子供たちの学校送迎やその後の、宿題などを見ながら、学校での状況確認をしているところです。もし、家に帰ったときの様子等で、「あれ？」と思う事がありましたら、いつでも連絡ください。

子供たちの一日が【楽しく・有意義に過ごせる】為の各機関等の調整を行っていきます。

## お知らせ

### <新しい職員紹介>

**山入端 貴人 先生**  
(児童指導員)  
担当:卓球  
●現役バリバリの卓球マンです。



**島袋 将太 先生**  
(児童指導員)  
担当:体幹トレーニング  
●うま市で相撲のコーチをしています。

○令和3年度は、常勤職員6名(内、管理者 兼 児発管(1名)・児童指導員(4名)・指導員(1名))・非常勤職員2名の計8名体制で運営していきます。よろしくお願いします。

### ●送迎について

⇒学校行事(家庭訪問・クラス懇談会など)の時期で、急な日程変更が多くなっていますが、時間変更の連絡のないまま、通常的时间で送迎に行き、子供たちを待たせてしまう・学校から「送迎が遅い」とお叱りの連絡を受けることがあります。学校の下校時間変更があるときは、連絡ください。よろしくお願いします。

### ●宿泊学習について

「名護青少年の家(1泊2日)」、「渡嘉敷国立沖縄青少年交流の家(2泊3日)」に行ってきました。渡嘉敷の宿泊学習に関しては、忙しい時間であったにもかかわらず、参加者全員、保護者が送迎をしてくださったおかげで、少ない職員の人数でしっかり子供たちに向き合うことができました。ありがとうございました。保護者の方が、協力して下さることで、子供たちの意識も変わり、とって成長して帰ってくることができました。

毎年、宿泊学習を行っているのですが、**事業所側の目標(一人一人の子供の成長に必要な力=自立に向けて)・子供たち一人一人が宿泊学習に行くために身につける力、もう一つ大切なことが家での保護者のサポート(例:子供の持って行く荷物を一緒に用意するなど)⇒この3つがそろって、初めて子供たちの成長につながると思っています。**そのために、保護者との連携が不可欠と感じています。

**今年度は、3つの視点を重視しながら子供たちの成長を見ていきたいと考えていますので、協力して下さるご家庭を中心に宿泊をしていきたいと思っております。ご理解よろしくお祈りします。**

## 思い出の一枚!

### ●名護青少年の家宿泊学習



●初めての宿泊学習のSさん。喘息発作を心配していたのですが、Sさんの「みんなと一緒にやりたい～」が強く、全行程一緒に行動し、とって楽しそうにしているSさんを見て、一緒に来てよかった～と、感じられる1泊2日でした。



☆チームA!!



●厳しくやっている分、Aチームだけのお楽しみ(^o^)も盛りだくさん!!



●泊まる部屋も子供たちだけで【①時間を見ながら行動する②グループ内で助け合いながら行動する】とグループ内で声を掛け合い行動できたAチーム!!とても仲間意識が出てきたおかげで、名護・渡嘉敷から戻ってきた今でも、よい関係性が続いています。

☆チームB!!



●基本的な生活習慣を一つ一つ確認しながら、友達と一緒に行動する事を目標にしたBチーム。野外炊飯では、いつの間にか草を入れたり、全部遊びに発展していましたが、事故もなく1泊2日過ごすことができました。

●エレベーターへのこだわりのあるKさん。初めからエレベーターの時間を設定することで、スケジュールを一つ一つ確認して、エレベーター活動に向けて折り合いを付けながら行動できていました。



●渡嘉敷国立沖縄青少年交流の家 宿泊学習



●渡嘉敷島の方々の暖かさにも身にしみた2泊3日でした。強いていえば、もう少し暖かくなってから、もう一度、子供たちと行きたいと思いました。

●初めての渡嘉敷宿泊学習。名護の宿泊で一致団結した分、みんなで協力して一つ一つの海活動に参加できたと思います。また、国立沖縄青少年交流の家の掲げている【標準生活時間】に合わせて、しっかり行動できていた子供たち。とても成長して戻ってくることができました。



素敵な笑顔 ( ^ o ^ )

